

2022 年度 工学院大学文化会 総括

工学院大学文化会
会長 浅野 泉紀



1.存在意義

工学院大学文化会は、工学院大学の文化会所属の部員全員によって構成される団体であり、文化会役員は文化会所属の部活動から選挙によって選出される。本会は文化会に所属する部活動の円滑な活動のために存在している。文化会は学生団体の一機関としての役割も担っていることから、文化会の活動は他の委員会や大学当局とも協力して活動を行い、工学院大学の部活動をより円滑に行うことができるように努力する。

2.総括

年間を通じて文化会員の文化創造活動を高め、自治委員会の役員としての責務を果たすために活動を行った。また、常に先を見据えて行動することでより円滑に活動出来るように心掛けた。また、八王子祭、新宿祭共に対面での開催が可能となったため八王子祭では野菜バーゲンを出店、新宿祭では声優トークショーを開催し成功に寄与した。

3.役員会

役員会は本部役員と各部長で構成される文化会の最高決議機関であり、文化会の問題点を指摘及び大学側への要望を討議する場である。

今年度は昨年度同様に個別に連絡を取り合う形で連絡の強化に成功したため引き続き同様の方法で行った。

4.活動内容

[連絡会議]

連絡会議は文化会に所属する部活動への連絡を担う場であると同時に、文化会の部活動相互の活動を認識するための場である。

今年度は昨年度同様、すべてオンラインでの開催となった。開催期間は本部・支部ともに不定期開催としたが、必要な情報を共有することができた。

[文化会総会]

文化会総会は文化会の最高協議機関であり、本年度予算、方針の承認を得る場である。同時に前年度の総括、決算報告の承認を得る場である。

今年度はオンラインと対面のハイブリットでの開催となった。例年の出席率の少なさを改善するため、日程の伝達を迅速に行った。また、委任状の回収は、個別に各部活へ連絡を取り、google form で行うことで回収率を上げることができた。ハイブリットで行ったことにより対面のみよりも参加率を上げることができた。

[文化会フェスティバル]

文化会フェスティバルは、新宿祭においてその活性化のため行う文化会が主催するイベントである。

今年度は、新宿祭は対面での開催となったため、声優トークショーを引き継いだ。三年ぶりで学外からの観客となり、不確定要素が多い中だったが、円滑に運営することができた。

[野菜バーゲン]

野菜バーゲンは八王子祭で支部役員を中心として行う。この企画は日常ほとんど接する機会のない地元住民の方々に本学へ親しんでいただく事と学生の皆様に文化会という団体を認識して貰う事を目的とする。今年度は4年ぶりに八王子祭が開催され、野菜バーゲンを出店することができた。間が空いたため引継ぎがあいまいな点もあったが成功させることができた。次年度円滑に行えるよう引継ぎ資料を作成する。

[激躍の作成]

激躍は各部活動や同好会の情報をまとめた会誌である。これは文化会OBや本学の学長、学生支援課の方、各部の代表から寄稿していただき作成する。激躍は新入生に配布される封筒に同封されることから新入生に文化会という組織を身近に感じてもらう近道である。

来年度も引き続き激躍の製作を行い、文化会の魅力を伝えられるような冊子の製作を目指す。

以上を 2022 年度工学院大学文化会の総括とする。